

125周年について思うこと

『変わらなければならぬのではないのか』

藤村 洋 (神戸YMCA名誉理事)

今年の7月、私はシヨッキングなニュースを聞いた。古巣であるM造船所が2年後に商船の建造を止めるといふニュースである。1905年8月の創業以来107年に及ぶ事業をやめるといふことである。事業の先行きを見て決断をしたのであろう。

神戸YMCAは125年を迎えようとしている。喜ばしいことではあるが、いまのままで良いのかなとも思う。ジョージ・ウイリアムスが1844年ロンドンでYMCAを始めたとき、ロンドンの勤労青年たちは悲惨な状況の中にあつたといふ。今日の日本の青年はどうであろうか。不安定な雇用の中に大勢の青年がいるといふ、希望のない閉塞感が漂っている。ほとんど当時のロンドンと同じような状況ではないか。こういう状況の中にウイリアムスがいたならば彼は何をしたらであろうか? 今我々がやっている事業は確かに必要なことに違いない。しかし、その対象者の中に『悩める青年』は殆どいない。これで良いのだろうか? あるいは『悩める青年』を始めてしまつと、その中で如何にして採算を上げるかといふことに目がいつてしまつが、本来は何をするか一番の問題ではないのだろうか?

スタッフがいって会員にサービスを提供するという事業の形態もそれで良いのだろうか? 『悩める青年が働き手で、その人たちが安心して、永続的に働ける場を作り、提供するという形があつても良いのではないか?』事業の結果が営利であつても良い、果実を何に使うかはそれから考えればよい。ともかく安心して働ける場を作ること、それが最も今日的なYMCAの使命だとは考えられないであろうか? その様に考えたとき財団法人という形が最適な形であるかどうかとも判らない。株式会社でも良いかも知れない。

事業の『結果』がキリストの使命に見合うものであること、というのが今のYMCAの発想である。そうではなくて事業の『過程』が使命であつて、結果は『世の役に立つ』程度のことであつても良いと考えたら全く別の事業の発想が出てこないだろうか? ともかく若者に生き生きと働ける場を提供することが目下の急務であるように思う。そのためにYMCAのメンバーが知恵や資金を出すという形が奉仕が出来るのではないのか。今の一般の会社には、社員がいきいきと働くことを会社の目的とするという定款を持つていて、そこではないのである。しかし、商法にそつといふ会社を作つてはいけないという規定もないであろう。いきいき働くためには、農業であれ、家内工業であれ、IT事業であれ食べていけることなら何でもやる、そつといふ会社があつても良いのではないのか。

『変わらなければならぬ』といふのは、その位大胆に発想を変えて、『悩める青年』のために何を為すべきか考えるときではないかといふことである。

神戸YMCAちとせ幼稚園・西神戸YMCA幼稚園運動会開催!!

9月18日(土)神戸YMCAちとせ幼稚園(須磨区高倉台)、9月19日(日)西神戸YMCA幼稚園(西区井吹西町)の運動会がそれぞれ協力の保護者や地域の方々のご協力のもと開催されました。今年も残暑が厳しく熱中症が心配された9月前半でしたが、運動会は両日とも爽やかな天気に恵まれ青空の下で園児達は元気に競技や演技を楽しみました。



容が主体です。その中でいかに子どもたちが「ワクワク」「ドキドキ」しながら、身体を動かす事を心から楽しめるかを大切に導いています。運動会当日は、園児たちが笑顔いっぱい競技や演技を行つて、一生懸命他のお友だちのことを応援している姿を保護者や地域のみなさんが、優しいまなざしで見守つて下さり本当にあたたかく楽しい運動会になりました。

YMCA保育園のあかちゃんサロンの様子

毎週水曜日、「赤ちゃんサロン」では、新生児やハイハイの赤ちゃんを連れてきたお母さん、実家が遠くで子育てに困る人がいなくて助けてほしい、しんどい時はここで泣いていいよ、初めての子育てを一人ががんばっているお母さんを見ながら、母になる準備をしていきます。地域と共に子育ての喜びや楽しさ、悩みを分かち合えるサロンでありたいと願っています。

対象：0歳児(産まれてすぐ)ハイハイ赤ちゃん) 日時：毎週水曜日 10:00~12:00 場所：神戸学園都市コミュニケーションプラザ2階 申込：不要



サマープログラムに参加した三宅杏奈さんから作文が届きました!

楽しかったサマースクール

瀧が森小学校三年 三宅 杏奈

わたしは、八月十六日から、二十日まで、YMCAサマースクールにさんかしました。サマースクールというのは、朝八時ごろ三宮のYMCAへ行っていろいろなたいけんをして夕方六時ごろ帰ります。

わたしたはスクールバスで、通いました。わたしのプログラムは、朝、しゅくだいをして、そのあと、英会話をして、正午ぐらいに、お昼を食べます。午後からは、毎日、ちがいのところへ行つて、いろいろな、体験をします。先生は、リーダーといつて、大学生ぐらいのおねえさんやおにいさんです。一日目は、グループわけから、はじまりました。はじめにわたしたの友達ができるかな、みんなについていけるかなと、とてもきちょうしました。午後から、風のおかについて、すくなく友だちができて、きんちようがなもんめをして、かちました。花いち一日目は、ロープウエーが、はじ

めてだつたし、すぐに、友だちができたので、うれしかったです。さしよにできなかったお友だちは、同じ学年のさかいあんずちゃんです。あしたからが、すごく楽しみになりました。二日目は、次の日の、海で遊ぶ物を作りしました。わたしは、水でつぼうを作りしました。はりが出ないように、紙やすりで、けずりました。むずかしかったです。二日目で、おわかれのリーダーがいました。えびちよリーダーとにこりんリーダーと、とみリーダーとです。みんなやさしいおねえさんリーダーでした。三日目は、いよいよ海へいく日です。おべんとうをもつて、かんこうバスで、明石の海へ行きました。手は、つめたかい所もあつたし、ぬるい所もあつて、広がつたです。帰りのバスは、一グループは、とつてもうなかつたです。みんな、とつてもなかつたです。四日目は、六甲山ぼく場へ行きました。羊が、きゆうに、ふんをしたので、みんな、おあさわざでした。おべんとうは、木のかげで食べて、おいしかったです。帰りのスクールバスでは、あと一日だと思つと、とても、かなしくな

りました。サマースクールさいこの日です。近くの公園に行つて、水遊びをしました。たいそんリーダーに、みんな水をかけました。一番大ききだったリーダーは、天リーダートと、あんリーダーです。二人とも、とても、やさしかったです。また、あいたいです。サマースクールに行つて、わかつたことは、人にやさしくすると、みんな、やさしい気もちでかえしてくることに、分らないことは、ゆるることを、聞いていたら、おしえてくれること。はじめの所でも、おともだちとは、お友だちのことです。わたしは、お友だちのこと、おとまりができないけど、YMCAだつたら、できるようなゆきが、わいてきました。サマースクールにさんかさせてくれた、お父さん、お母さんにありがとうと言いたいです。また、大学生になつたら、YMCAのリーダーになりたいです。

- 【感謝】 神戸YMCA創立125周年協賛金 神戸大学YMCA、廣瀬一雄、八杉光春、神戸学園都市ワンス、メンズクラブ、加輪上敏彦、吉田明、早苗、牧田稔、岡山泰典、坂本庸秀、出雲谷剛、尾上尚司、間勝也、山本正高、辻田康佑、石井茉莉、阿野麻里子、山口侑里、汐見葉子、畑中千明、横関舞、原田泰志、田治杉子、権藤みか、齊藤靖、櫻井智子、田中豊徳 (敬称略、順不同) 【寄付金】 武田寿子、清水泰人、濱浩一、川島恵美、富川和彦、江原伯陽、兼田幸子 (敬称略、順不同) 【第23回 チャリティゴルフ大会】 10月20日(木) キングスロードゴルフクラブ 参加者 58名 収益 222,791円 足立康幸、猪飼惇二、市原法雄、今小路憲人、上野恭男、大田靖之、小笠原美根、岡野泰和、奥山泰仁、長内建佑、尾上尚司、柏原佳子、加藤光信、嘉納洋加、輪上敏彦、功力正士、窪田温、佐井裕正、佐野睦、島田恒清、水泰人、下田恵美子、進藤敬介、杉村肇、角南忠昭、高島武郎、武田寿子、多胡葉子、谷紳一、寺山正道、堂本将司、中尾英輔、中志文廣、長野泰信、西田勉、橋爪宏之、橋本正晴、濱浩一、平井幸夫、広瀬一雄、福原吉孝、堀岩夫、堀江裕一、真栄田いずみ、丸山悦治、万本敬一、水野雄二、三宅敬、森忠司、安行英文、山根敏雄、山本克己、山本常雄、吉田透、吉田恵美、吉野泰史、和田智子、和田貞雄、飯田義雄、阪根新、菱三印刷株式会社 (敬称略、順不同)

ウエルネスセンター三宮	078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	078(241)7237
ランゲージセンター	078(241)7204
専門学校	078(241)7203
西宮YMCA	0798(35)5987
三田センター	079(559)0075
余島野外活動センター	0879(62)2241
国際・奉仕センター	078(241)7204



ウエルネスセンター学園都市	078(793)7401
西神戸YMCA	078(793)7402
西神南センター	078(993)1560
須磨YMCA	078(734)0183
YMCA保育園	078(794)3901
西宮YMCA保育園	0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	078(792)1011
YMCAちとせ幼稚園	078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	078(997)7705

冬・春プログラム紹介



スキーキャンプへいこう！！

今年は、本当に本当に暑い夏でしたが、神戸YMCAのサマーキャンプでは1375名の子どもたちが、海や山でリーダーととびきりの体験をしました。自然の中、新しい友だちやリーダーと過ごした時間が、子どもたちの「こころ」と「からだ」を一回り大きくしたようでした。

秋がやって来たところですが、スキーキャンプの準備が始まっています。「長い距離を 楽しく 安全に」をテーマに、子どもたちが冬の中、自然の中でスキーを通して成長していくことを大切に考えています。

ゲレンデではスキーレベルで8～10名のグループに分かれ、2名のリーダーがスキーを指導します。リーダーは現地で技術や理論の事前研修を受け、子どもたちが楽しみながらスキーが上手になるようにサポートします。宿舎では学年毎のグループに分かれ、リーダーが生活をともにします。食事や入浴、寝る時もずっと子どもたちに寄り添います。さらに看護

士資格保持者も帯同し、心身の安全をバックアップします。

子どもたちは、リーダーに支えられながら新しいチャレンジを楽しみ、達成感いっぱい笑顔で家へと帰っていきます。この冬、お子さんととびきりの大冒険をプレゼントしませんか？



キャンプ担当者(ディレクター)

信州志賀	総合責任	松田康之・中野卓磨
	わんぱく	大塚雅人
	チャレンジ	村上 弘
	中高生	阪田晃一
信州白樺	アドベンチャー	小寺隆志・中村賢次郎

第5回 日中平和交流の旅

9 / 22 (水) ~ 26 (日)

パートナーシップYMCAである中国・天津YMCAの企画により、日本に縁ある天津、瀋陽、大連を訪問しました。神戸から5名が参加し、歴史に学びながら平和に根ざした交流を今後とも深めていくことを約束しました。



Photo Topics

9 / 18 ~ 20

秋の余島キャンプ



雲ひとつない青空、爽やかな風が吹く秋の余島を満喫しました。海水浴を楽しんだり、ヨットやアーチェリー、カヌーも楽しみました。

9 / 26

ウィンドサーフィン



悪戦苦闘しながらも風を感じ、波(うねり)を感じ、潮の流れを体感しました。

10 / 7

日本語入学式



アジアやアフリカからの留学生を迎える日本語学科入学式を行ないました。

クリスマスカードコンテスト

対象：幼児(3～5歳児)・小学生
 応募締切：12月3日(金) 17:00必着
 作品規定：手作り、サイズが22cm×15cm以内であること
 (作品が二つ折りカードの場合、片面のみが審査対象となります)
 応募方法：作品に以下の内容を添付し、事務局へ持参または郵送してください。
 住所 電話番号 氏名 性別 生年月日 学年(年齢) 学校 団体名
 送付先：〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
 神戸YMCAウエルネス三宮クリスマスカードコンテスト事務局 宛
 作品展示：12月13日(月)～25日(土) 神戸YMCA三宮会館
 同期間、神戸YMCAホームページにも掲載されます。
 お問い合わせ：神戸YMCAウエルネス三宮 TEL078-241-7202 担当：小菅



個人消息

ご逝去	謹んでお悔やみ申し上げます
7/12	浜田 一雄 様(元神戸YMCAスタッフ)
8/29	阪本 伸彦 様(西部地域委員、会員活動委員、神戸学園都市ワイズクラブ)ご母堂様
9/19	阪田 晃一さん(余島センター職員)ご祖父様